

議会報告会の記録

日時：平成 30 年（2018 年）5 月 26 日（土）

午前 10 時から 12 時まで

場所：総合体育文化センター 2 階会議室

参加者：20 名

開会のあいさつ

櫻井（総務・産業建設常任委員長）、鬼頭（厚生・文教常任委員長）、鈴木（公共施設再配置検討協議会会長）から報告を行った。

報告に対する意見交換は以下の通り。

A) 公共施設再配置計画の「集会所」とは、私は中野町に住んでいるが、「中野会館」があるが、これも対象となるのか。	鈴木) 集会所にも行政区所有のものと、市所有のものがある。このうち市所有のものが対象となる。
A) 小さな行政区だと、管理するといっても、数百万円かかる。現実的に無理。他の地区の集会所との統合が現実的だと思う。その方向で進めてほしい。	
A) デマンド交通の利用率のアップと送迎保育ステーションの利用率のアップ。他の自治体でも成功している事例を参考になぜしないのか。失敗しているなら、なぜ失敗したのかを反映させないのか。	櫻井) 全国的に見て、地域の足の問題は同じ構造になっている。民営のバス会社であれば 3 割の黒字路線で 7 割の赤字路線を支えている。巡回バスにすると空のバスを走らせるより、乗合率 1.2 人くらいではあるが、0 人のバスを走らせるよりはましではないか。
A) デマンド交通は 5 年経過している。今まで何もしていないのか。今からでは遅くないか。	木村) 議員個人はそれぞれ研修・視察などを通じ、議案質疑や一般質問で聞いている。 公共交通会議を通じてしか改善が図れないという面がある。要望は料金から行先までたくさんある。

	梶谷) 送迎ステーションは賛否が最初からあった。保育の理想の姿は親が直接、保育園で保育士さんと会話することであると思っている。 梅村) 流山市が先進事例として上げられた。岩倉市との違いは市の面積の違い。保育サービスに対するインパクトはあった。
A) 利用率アップの方策がないようなら廃止という手段もあるのではないかな。	宮川) 今、行われている方法がベストではないと思っている。可児市では観光目的で巡回バスとデマンド交通を併用している。三重県玉城町では中心部の高齢者施設を核として実施している。引きこもらない高齢者になっていただくという考え方。デマンド交通に 2,000 万円かけて、医療費が 1 億円低くなっているというケースもある。
B) 巡回バス形式を望む。さらに岩倉駅やアピタ（商業施設）に乗り入れてほしい。 北名古屋や大口は 100 円である。誰でも乗れて、中学生以下は無料。このような巡回バス構想は検討しなかったのか。	堀) 当然、検討した。バス停の数はいくつ必要なのかなどを、全国調べた。その調べた結果、デマンドという形態が望ましい。
B) それにしても 300 円は高い。	堀) 私も高いと思う。引き下げてほしいという意見で議員活動している。
B) 電話で予約して利用するが、午後は市内で停車しているのを見かける	木村) 把握している。
B) 停車しているなら、乗客ゼロでも走っていた方が、皆さん利用されるのではないかな	堀) 当初、無料券を配ったがその時は利用があった。 まず高いというのが 1 点。市内に点在している公共施設に行ってもらうというのも目的の 1 つであった。駐車場のない公共施設もあり、公共施設へ行くときは無料にすべきである。

B) 議会報告会へ行くと周りの人に話したら、路線バスを検討するようという意見がたくさん出た。	木村) ありがとうございます。
C) 公共施設の件。岩倉市として存続していく前提での計画ですね。合併したら、無意味だと思うが。 「複合化」とは1つの建物の中に複数の施設の機能が入っているという考えでよいか。 木造の建物へのこだわりがあるのか 広報の仕方。若い人は誰も広報を知らない。読んでいない。若い人へのアピールの仕方の工夫が必要ではないか。 1歳未満の保育の必要性。 デマンド。買い物難民。名鉄の抵抗があったのではないか。 回答を求めない。とりとめのない話で申し訳ない。	鈴木) 合併を前提としていない。人口減少を前提としている。耐用年数はきちんとメンテナンスしていけば80年でも持ちます。木造には私も賛同している。
23 : 00 D) 報告だけで、議会としての意見がほしい。こういう方向で考えているから皆さんどうですかとなると面白いのではないか。 デマンド交通は止まって（廃止して）ほしいと昔から思っている。金の問題を度外視しないとできない。市としての力点の置き方。公共施設の件。コンサルタントの資料そのままである。議会としてどうしていきたいのか。 政務活動費の件。残余の金額がある。議会サポーターをやる意味は分かるが、政務活動費が残っているところに、新しく議会サポーターの費用を発生させることは理解できない。ボランティア活動をやっているが無駄にできるお金はない、自費である。政務活動費	黒川) 議会のあり方を問われているご意見をありがとうございました。 聞き放しきにするつもりはない。手段の1つとして政策提言がある。議会の方向性をまとめるにあたり市民の皆さんの意見をください

が残っているのは理解できない。議員の定数を減らしたが、政務活動費の総額は上がっている。お手盛りである。 議会の各論点の方向性を知りたい。 石仏の駅の件。資料がないのは理解できない。5月18日に説明会を行っている。議員もいた。資料としては出ている。この場にならないのは理解できない。	というのがこの集まりである。 政務活動費については、使途は自由でない。各種政策のための研修、視察などに使用している。余ったら返却してもらっている。余りそうだから消耗品を買うようなことはやめていただいている。
D) 統廃合については委員会としては統廃合しますという方向性か	鈴木) (公共施設再配置検討) 委員会 (行政側) から提案がでています。これに基づいて協議していきます。
D) 議会としてのスタンスは、人口減少などをふまえて統廃合しますというスタンスですか。 E) 個別のいろいろな考えの市民がいるから、それが議会で1つにまとまるはずがない。	鈴木) はいそうです。 梶谷) 決まってないです。 木村) 出てきたものを協議しているというのが現状です。 木村) はいそうです。この協議会の運営も議員それぞれの考え方があります。市民に判断していただくのも1つの方法である。13%削減も総務省の考え方を当てはめているだけ。
D) 協議会の中で話されていくのだが、協議会の会長としては先ほどのスタンスで行くのか	鈴木) はい 梅村) 統廃合できないかという観点からいろいろな議論をしている。 大野) 誤解がないように。統廃合や複合化するときに、議会としては夢のあるプランで作ってほしい。市民の方に「こんないいものがで

	きたね」をお願いいただけるものにしたい。 木村) 40 年という長期の計画という側面もあります。そういう議論になります。 若者への広報という面ですけど、これは議会も苦労している。 「せいじ〜る」(市民活動団体)の申し出により若者との意見交換会も行った。これからも継続したい。議会広報誌へ若者を登場させるという手法もある。 堀) 若者対策でいえば、議会サポーター制度も若者を狙っている。年代別の抽出を行っている。この若者の中から、次の市議会議員になりたいということも遠い目標である。
E) サポーター制度の目的やどうしたいのか。	堀) 行政側と市民との関係では自治基本条例があり、協働という手続きがあるが、議会と市民では何か制度化されたものがあるのか。このふれいあいトークしかない。市民参加の1つの手法であると思う。ここにお見えにならない市民のほとんどが政治に対し無関心である。
F) デマンドは厳しい意見が出たが、コンパクトな街で本当に必要なのか。シビアにかんがえてほしい。利用者がいないということはいらないうこと。コンパクトな街だから必要ないのか、不便だから必要ないのか。わかっていると思う。これを議会で議論してほしい。 続けていくなら市内に限らず近郊の病院や商業施設とのリンクを考える必要がある。そういうデザインがないとダメ。	

旧給食センター跡地利用、石仏駅東の話題と公共施設の統廃合の関係性は。統廃合するといっているのに、旧給食センターの跡地に新しく建てるのか D) やはりビジョンがない。 D) 個々の総合体育文化センターにたくさん駐車場がある。第二児童館がある。駐車場がない。自転車か徒歩か、ベビーカー引いてくるか。野寄りとか北島には児童館がない。第二児童館を利用しようとする。ここの総合体育文化センターの駐車場に第二児童館利用目的として駐車しようすると断られる。何をどう説明してもダメだといわれる。黙っておいていいかと聞くと、それは困るといわれる。いろんな資源があって有効に使えないか。統廃合の前に考えてほしい。それがビジョンではないか。 井上児童遊園があるが、五条川のそばにある。五条川の桜の消毒をする時についでに井上児童遊園の植木にも消毒してくれないかと言ったら、予算が違うのでと断られた。 都市公園と児童遊園でも所管が違う。同じ子供が遊ぶものでなぜ違うのか。1つの部署担当にまとめることができないのかコストは下がると思う。	木村) 一方ではものを作っているし、一方では減らしていくという計画がある。都市計画道路を作るという計画があるが人口減少時代に必要な道路なのか。
G) これ(縦割り)は岩倉市の問題ではない。国全体の問題である。	木村) 予算なんかも、複合化できればコストが下がるという可能性は

同じ看板でも違う部署が持っている。横のつながりは全くない。私も市役所はこういうところだと、この年になって悟った。	あるのではないかという提言をありがとうございました。
F) サポーターの話があったが、年齢ごとに抽出しているけど、応募の段階になると真逆になると思う。仮にサポーターの会議をする時に平日の昼間にするとすると、(若い人の) 誰が参加するのですか。本当に意見を聞きたいのであれば、夜とかに開催するなどの方策が必要。 若い人を集めようとするれば、若い人にたくさん案内を配る必要があるのではないか。そうしないと既得権(高齢者)を維持する意見ばかり出てくるだけになる。 デマンドは反対(廃止してほしい)。これもタクシー券を配布するだけの話。若者に負担が行っているだけ。	堀) 議会ではネット配信している。説明会は夜間に開催する予定。デマンド。タクシー券の配布は導入前に当然検討した。高額になるという結果を受け入れた。
	議長と木村) 女性がお見えなので女性から何かあれば。
H) 若い人は多いと感じている。その人たちにとって暮らしやすい街であってほしい。 保育園は仕事に行くことを考えれば、近くに必要。その時に「送迎保育ステーションはいらない」という意見を聞くとむなしくなる。 若い人たちは働かないと生活できない。弱い人を助けるのが市の役割ではないか。高齢の人は「歩くのが当たり前」。若い人は近所のコンビニでも車で行くのが当たりの世代である。 病児保育の現状はどのようなになっているのか。	梅村) 病児保育は1つの医療機関で行っている。定休日があるので利用できない日があるという問題がある。 解決策として、訪問型の病児保育サービスのNPO法人が開設されたり、市外の病児保育を利用した時の利用料補助が出てきている。 木村) 若い人の定住促進を行っているが、引っ越して来たら待機児童がいたではいけないので、意見は言ってきている。新築戸建が立っている、保育重要は高いと思う。引き続きこの傾向は続くと思っている。

	宮川) 保育園父母の会との意見交換で強い要望がある。市内移動が多い。岩倉駅前の分譲マンション購入者はほとんどが岩倉市民である。30代40代で市外へ引っ越す傾向がある。手をこまねいているわけではない。一般質問で発言しても、個人のテーマとしか思われていない。 大野) 本町を中心に新築ブームである。空き家バンクあるが登録はゼロである。空き地があれば不動産屋がすぐ動き、家が建つ。 人口を維持することができている。便利な街と認知されている。 病後児保育を6月から本町で開始される。梅村) 企業誘致は雇用が発生する可能性がある。 木村) そろそろ時間が・・・
A) 議事録を公開してほしい。都合の悪いことを削除しないでほしい。結論が出たものは結論を書いてほしい。結論出ないものは留保という形で。留保したものは回答できるように。	宮川) はい。 木村) 発言全てではなく、要約になりますけど。
A) 構いません。ここに参加していない人にもわかるように。	木村) ほかによろしいでしょうか。 今後も年に2回は報告会を、そのほかには行政区、市民団体などと意見交換会を開いていくことに変わりはありません。引き続きそちらにもお出かけください。運営の改善はしていく。

閉会の挨拶

以上